一、興亜奉公日
本八月二於テ帝國ノ運命ハ決スベシ
北カ南カ、南北同時カ等
八月二於テ決セザルニ於テハ帝國ノ地位ハ益々
低下スベシ

二、連絡會議開催セラル
對ソ外交交渉要領中中立條約確約
ヲ遠ノ外相三國枢軸破棄ノ如キ主旨
ヲ主張ス 陸相強硬ニ反對ス

三、第二部長對ソ外交交渉要領ニ關シ
全然開知セズト云フ部内ノ連絡不充分

二依ル

四、對英米戰ハ必至ノ空氣逐次濃化シ來ル
難點ハ上層部ニ在リ國衆浮沈ノ秋
上層ノ複雜錯綜カ國ヲ亡ボスノ動
因トナラズヤ

一、對米戰爭ハ百年戰爭ナリ
帝國ハ遂ニ之ヲ回避スルノ方法ナキヤ
同盟電ニ依レバ石油ヲ禁油スルト云フ事
實ナリトセバ遂ニ百年戰爭避ケ難キ宿
命ナリ
軍務課對英米戰爭ヲ決意スベキ
御前會議ヲ提議シ來ル　陸軍省軍務
課ノ對英米決意ハ強硬ナルモノアリ
二、關東軍ヨリノ」東部國境方面無線封
止セリノ情報アリ兵力移動カ攻勢發起カ
不明ナリ